

記者発表（資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名	電話番号	発表者名	その他 配布先
2/12（火） 14時	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科	(078) 891-7376	研究科長 室崎 益輝 (神戸防災キャンパス経営部長 多田 幸雄)	—

減災復興国際シンポジウムの開催について

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科では、「来るべき大津波に備えて過去の教訓をどう生かすか～ Lessons from past experiences to prepare for future tsunami～」をテーマに、下記のとおり減災復興国際シンポジウムを開催します。

記

- 1 主催 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科
 - 2 共催 JICA 関西
 - 3 日時 平成31年2月13日（水） 13:30～17:00（受付13:00～）
 - 4 会場 国際健康開発センタービル9階 国際会議室（神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1）
 - 5 テーマ 来るべき大津波に備えて過去の教訓をどう生かすか
～ Lessons from past experiences to prepare for future tsunami ～
 - 6 内容
 - ・開会挨拶 太田勲（兵庫県立大学学長）
 - ・報告
 - 「減災復興政策研究科の取組み」
青田良介（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）
紅谷昇平（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授）
 - ・特別講演
 - 「災害知識を構築し育む：2004年津波後のジャクアラ大学（インドネシア、バンダアチェ）のイニシアティブ」
カイルール・ムナディ（インドネシア ジャクアラ大学津波防災研究センター長）
 - 「津波早期警戒システムに関わるエンドツーエンドの問題：パル・スンダ海峡津波からの教訓」
ウドレク（インドネシア技術評価応用庁上級研究員）
 - ・パネルディスカッション
 - テーマ1 「住民の意識と地域での取組み」
（話題提供）馬場美智子（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授）
 - テーマ2 「行政の取組み」
（話題提供）奈良雄規（南あわじ市危機管理部危機管理課係長/
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科修士課程1年）
- （パネリスト）
カイルール・ムナディ（ジャクアラ大学津波防災研究センター長）
ウドレク（インドネシア技術評価応用庁上級研究員）
奈良雄規（南あわじ市危機管理部危機管理課係長）
馬場美智子（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授）
（コーディネーター）
阪本真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授）
- ・開会挨拶 室崎益輝（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長）
- ※会場入口にて、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科と JICA 関西・国際防災研修センターの活動内容を紹介したパネル展を開催。
- （問い合わせ先）
- ・本シンポジウムに関すること
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科（准教授：馬場）TEL 078-271-3292
 - ・本研究科全般に関すること
兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課（課長：西谷）TEL 078-891-7376